

## 作業報告

日 時 7月1日(火) 07:00~11:00

場 所 上り線 12k060~210m No15 上り線橋りょう

### 作業内容

責任者 4名、作業員 22名

- ・ 総つき固め 上り線 12k150~210m 60m
- ・ マクラギ位置修正 5か所
- ・ 上り線橋りょう 足場・落下防護工撤去、レベル調整パッキング固定

橋りょうの足場・落下防護工を撤去して、橋りょうパッキング固定、12k150mから総つき固めを行ったが、10時半頃スコールとなり、作業を中止した

インフルエンザで休んでいる者も多いため、雨の中での作業は中止した。

明日は、上り線 12k210m から 265m まで総つき固めを行う。最大で 40 mm レール扛上となるため、2回に分けて扛上する。

明日から松尾君が現場作業責任者となる。

最高気温は 29℃、曇り/スコール



上り線レール扛上量測定



足場工撤去



上り線橋りょう バゴ一方



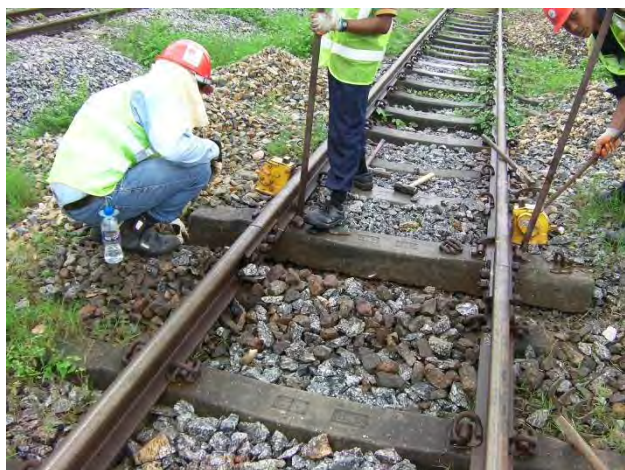
下り線橋りょうバゴ一方



足場工撤去



列車抑止



マクラギ位置修正



列車を抑止してつき固め



雨の中でのつき固め作業



パッキング固定

## 作業報告

日 時 7月2日(水) 07:00~11:40

場 所 上り線 12k210~ 275m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 20名

- ・ 総つき固め 上り線 12k210m~275m, 65m
- ・ マクラギ位置整正 4か所
- ・ No.15 橋りょう背面、突き固め
- ・ 通り直し 上り線 12k180m~250m

本日から発電機1台、タイタンパー4台を増やし、突き固めを多くできるようにした。

2回に分けて扛上を行う必要がある12km250m付近を先に行い、その後12km210mから扛上、突き固めを行った。12km265mより先は、落ち込んでいた。そのため、明日の扛上に備えて10mのすりつけを行った。

また、手があいた班で、橋台背面の突き固め、マクラギ整正、通り直しを行った。

明日は、上り線12k265mから350m付近まで総つき固めを行う。

最高気温は31℃、曇り/雨

## 作業写真



新しい発電機



施工前の測定



バラスト掻き入れ



マクラギ位置整正



総突き固め



橋台背面の突き固め



通り直しの状況



計画線作成の考え方説明

## 作業報告

日 時 7月3日(木) 07:00~12:20

場 所 上り線 12k275m(200m)~360m, 85m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 24名

- ・総つき固め 上り線 12k275m~350m, 75m
- ・マクラギ位置修正 2箇所、継ぎ目位置修正 12本
- ・通り直し 上り線 12k200m 付近

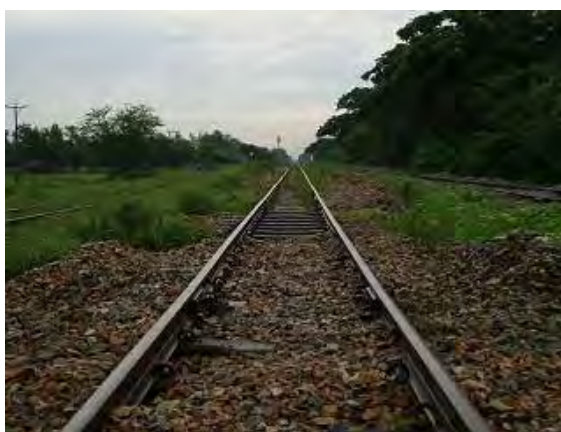
2回に分けて扛上を行う必要がある12km310m付近の扛上、突き固めを先に行い、その後12km275mから再度、扛上、突き固めを行った。軌道内への草木が多くなってきたので、明日以降、草刈機の対応も行う。

手があいた班で、マクラギ位置修正、継ぎ目位置修正、通り直しを行った。バラスト量が多くなってきたので、通り直しは、通り修正機と人力を併用した。

明日は、上り線12k350mから460m付近までのレール扛上と総つき固め、通り直し等を中心とした作業を行う。

最高気温は31℃、曇り

## 作業写真



施工前の状況



事前検測の状況



草刈の状況



バラスト掻き入れ



マクラギ位置修正



全体の作業状況



通り修正機セッティングの状況



軌道整備後

## 作業報告

日 時 7月4日(金) 07:00~12:00  
場 所 上り線 12k360m (250m) ~430m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 22名

- ・総つき固め 上り線 12k360m~430m, 70m
- ・継ぎ目位置修正 13本 (12km500m 付近まで先行して修正)
- ・通り直し 上り線 12k250m~350m 付近

本日の朝礼時に、多くの一般人が朝礼の様子を聞いていたので、通訳に確認したところ、ミャンマー国鉄の職員が聞きに来ていたということであった。

本日の作業は、2回に分けて扛上を行う必要がある 12km410m 付近の扛上、突き固めを先に行い、その後 12km360m から再度、扛上、突き固めを行った。

手があいた班で、継ぎ目位置修正、通り直しを行った。下り線で列車動揺が大きい箇所があったので、調べてみたところ、片側のボルトが抜け落ちていた。手持ちのボルトがなかったので、使用停止中の路線のボルトを拝借して対応した。

来週は、本日の作業箇所のむら直し、上り線 12k350m から踏切(終了後、下り線)までのレール扛上と総つき固め、通り直し等を中心とした作業を行う。

最高気温は 31℃、曇り

## 作業写真



朝礼終了後の現場までの移動  
(10人近くのMRの職員が朝礼  
を聞いていました。)



事前検測の状況



位置整正



列車を抑止しての作業



ボルトが外れていた下り線の継ぎ目



使用していない線路のボルトを拝借



通り直しの状況（人力）



軌道整備後（起点方を望む）



## 作業報告

日 時 7月7日(月) 07:00~12:20

場 所 上り線 12k340m~400m, 445m~500m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 22名

- ・総つき固め 上り線 12k445m~500m, 55m
- ・継ぎ目位置修正 10本 (12km560m 付近まで先行して修正)
- ・むら直し、通り直し 上り線 12k340m~400m 付近

先週施工した箇所で、ムラが見られたので、最初にむら直しと通り直しを行った。

その後、本日予定していた箇所のレールこう上、突き固めを行った。草が多くなってきたが、草刈機で刈るほどではないため、手作業で行った。現在のグループの研修期間は今週いっぱいなので、現場責任者にも自らレベル作業を行ってもらい、先週説明した計画線の考え方とあわせて、理解を深めてもらった。

明日は、本日の作業箇所のむら直し、上り線 12k500m から 580m 付近までのレール扛上と総つき固め、通り直し等を中心とした作業を行う。

最高気温は 33℃、晴れ (久々に雨が一滴も降りませんでした)

## 作業写真



施工前の状況  
(軌道内に草が多い)



人力による草むしり



通り直し



作業責任者（白ヘル）による測量



トロで 12m レールを運ぶダゴン線の作業員



レールこう上、突き固め



継ぎ目ボルト修正



むら直し、突き固め終了後

## 作業報告

日 時 7月8日(火) 07:00~12:30

場 所 上り線 12k400m~480m, 500m~565m

### 作業内容

統括責任者 1名、責任者 3名、作業員 21名

- ・ レール扛上、総つき固め 上り線 12k500m~565m, 65m
- ・ 継ぎ目整正 8本(12km620m付近まで先行して整正)
- ・ むら直し、通り直し 上り線 12k400m~480m付近

昨日施工した箇所のみら直しと通り直しを最初に行った。

その後、本日予定の箇所のレール扛上、突き固めを行った。草木が多くなってきたので、草刈機を多用した。分岐器付近に近づいてきたが、分岐器本体には触れず、分岐器後端付近の水準を0に近づけるにとどめた。

明日は、本日の作業箇所のむら直し、踏切付近(12k630m)までのレール扛上と総つき固め、その後、踏切から下り線に作業場所を変えて、ヤンゴンに向かって、レール扛上と総つき固めを中心とした作業を行う。

最高気温は31℃、曇り

## 作業写真



施工前の検測



草刈機使用



バラスト掻き入れ



通り直し



踏切付近継ぎ目修正



レールこう上、突き固め  
(RGB (保守用車) を抑止中)



突き固め終了後



下り線測量  
(明日以降の作業準備)

## 作業報告

日 時 7月9日(水) 07:00~12:30

場 所 上り線 12k400m~625m, 下り線 12k580m~625m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 20名

- ・ 総つき固め 上り線 12k585m~625m, 40m  
下り線 12k580m~625m (1回目), 45m
- ・ バラスト整正、通り直し 上り線 12k340m~625m 付近

昨日施工した箇所、ムラが見られたので、最初にむら直しと通り直しを行った。

その後、本日予定していた箇所のレールこう上、突き固めを行った。

分岐器については、水準の大きな箇所、通り狂いの大きい箇所のみ施工した。

踏切に到達したので、下り線の施工に入ったが、2回こう上させなければいけない状況だったので、本日の作業は1回のこう上で終了した。

明日は、本日の作業箇所、もう1回レール扛上と総つき固めを行う。(金曜日が祝日のため、明日が今回の研修生の最終日)

最高気温は33℃、曇り時々雨

## 作業写真



施工前の検測状況 (上り線)



人力と機械併用で草刈



突然のスコールにより約 20 分中断



突き固め状況（上り線）



分岐器内へのバラスト掻き入れ



分岐器部の通り直し  
(人力では作業が進みませんでした)



分岐器部の通り直し（機械使用）



上り線終了後、下り線着手後

## 作業報告

日 時 7月10日(木) 06:30~11:00

場 所 下り線 12k575m~630m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 22名

- ・総つき固め 下り線 12k575m~630m, 55
- ・分岐器部ボルト修正

現在のグループの研修期間は本日までで、午後に地元へ戻るということから、開始時間を早くして、終了時間も早めることにした。

昨日、下り線の1回目のレール扛上を行ったので、本日は2回目の扛上と踏切へのすりつけを行った。現場責任者にも計画線の考え方の説明を行った。

来週は、新しいグループへのガイダンス、下り線 12km575m からヤンゴン方のレール扛上と総つき固め、通り直し等を中心とした作業を行う。

最高気温は 30℃、曇り

## 作業写真



レベル測定の様



踏切部すりつけ



バラスト投入の状況



突き固めの状況



分岐器部ボルト修正



作業責任者への説明



終了後の検測



踏切へのすりつけ、突き固め終了後



## 作業報告

日 時 7月14日(月) 07:00~12:20

場 所 下り線 12k600~525m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 25名

- ・むら直し 下り線 12k600~545m 55m
- ・総つき固め 下り線 12k545~525m 20m
- ・通り直し 下り線 12k600~640m

今日からMR新OJT生20名が研修に参加となった。内訳は第1管区(カチン)から6名、第4管区(カロー)7名、第3管区(バカン)7名で、若者が多い。

あいにく朝点呼から雨で、安全靴、ヘルメット、安全チョッキ、レインコート等を支給し、作業説明後、小降りになったので、実務研修に入った。

初めてのタイタンパー作業で、ヤンゴン地区の作業員からタイタンパーの作業説明を受けるが、力が入り過ぎて、巧くつき固めが出来ない。

終了点呼後、作業マニュアルを渡して、作業説明を繰り返した。

明日は、下り線12k510付67号分岐器扛上を行う。

最高気温は29℃、雨/曇り



安全靴、ヘルメット、安全チョッキの支給



雨の中の検測作業



指導しながらのタイタンパー作業



通り直しとつき固め作業

## 作業報告

日 時 7月15日(火) 07:00~11:30

場 所 下り線 12k560~440m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 23名

- ・むら直し 下り線 12k560~540m、460~440m
- ・分岐長マクラギ交換 2本
- ・67号、66B号分岐器扛上(1回目) 下り線 12k535~482m

本線上の67号分岐器、使用停止になっている66B号分岐器のレール扛上(1回目)を行った。最大で30mm上げるので、2回に分けて扛上した。まだタイタンパー作業に慣れていないため、ヤンゴン地区の作業員と組ませて、時間を掛けて行った。2回目の扛上は明後日17日に行う。明日から、朝方は雨が多いので、7:30からの作業で、下り線12k440~380mの総つき固めを行う。

最高気温は30℃、雨/時々曇り



バラスト準備



分岐長マクラギ交換



分岐器扛上



分岐器跡検測

## 作業報告

日 時 7月16日(水) 07:30~12:00

場 所 下り線 12k465~330m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 25名

- ・ 総つき固め 下り線 12k465~330m L=135m
- ・ 通り直し 下り線 12k450~400m

下り線 12k465m からヤンゴン方に向けて、総つきを行った。この箇所は昨年12月中旬に掛けて総つき固めを行った箇所であるが、バラストが少なかったため20mm程度しかレール扛上が出来なかった。今回はバラストも有り、扛上量の多い箇所で2回に分けて38mm扛上した。前回扛上した箇所であったので、2班に分けて135mの施工を行った。

継ぎ目板部分はボルトが緩んで継目落ちしており、スプリングワッシャーを入れて再締結した。今日から30分程繰り下げて作業を行ったので、雨には合わず作業を終えた。

明日は15日に扛上した66号分岐器の2回目の扛上を行う。

最高気温は30℃、雨/時々曇り



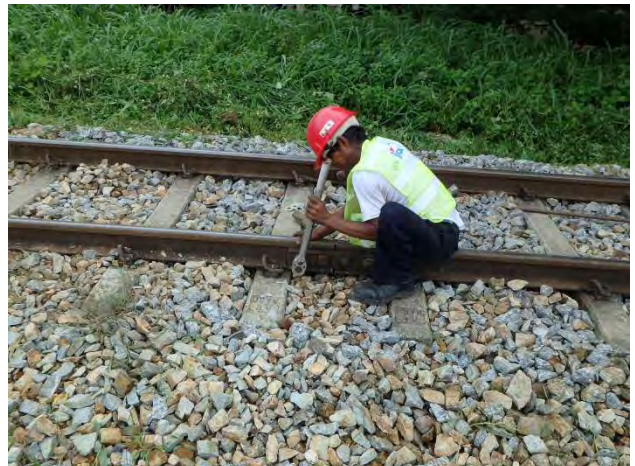
レベル測量で、扛上量を測定



総つき固め (タイタンパー8基)



通り直し



継ぎ目ボルト再締結

## 作業報告

日 時 7月17日(木) 07:30~12:10

場 所 下り線 12k570~475m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 24名

- ・ 総つき固め 下り線 12k525~475m 66B号分岐器
- ・ 通り直し 下り線 12k570~460m

信号屋さん立合いの下、66B号分岐器の扛上(2回目)を行った。2回に分けて40mm扛上したが、作業後の検査でむらが出たため、居残りむら直しを行ったため、終了時間が遅くなった。

新人さんのタイタンパー作業は、上達してきたが、時折力任せにこねくり回している者もいる。通過列車時の分岐マクラギの状況を見せながら、再度やり直しをさせている。

明日は下り本線 12k370 からをヤンゴン方向に向けてレール扛上を行う。

最高気温は32℃、曇り時々晴れ



バラスト準備作業



総つき固め



通り直し



作業終了後(ヤンゴン方)



草刈



バラスト補充



総つき固め



通り直し



居残りむら直し



作業終了後（バゴ一方）

## 作業報告

日 時 7月18日(金) 07:30~12:30

場 所 下り線 12k380~245m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 24名

- ・ 総つき固め 下り線 12k365~245m L=120m
- ・ PCマクラギ位置整正 8本
- ・ 通り直し 下り線 12k380~260m

下り線 12k365m からヤンゴン方に向けて、総つき固めを行った。

昨年12月下旬に総つき固めを行った箇所、バラストも有り、マクラギ位置整正をしながら、120mのレール扛上を行った。

レール扛上量の設定で、手間取ったため、12時半まで作業が掛かった。

来週月曜からは、レベル測量機器を2台にして、各班の責任者に測量実習をさせながらレール扛上を行う。

最高気温は30℃、曇り 少し蒸し暑かった。



レール扛上準備作業



総つき固め



列車抑止してのつき固め



作業終了後(ヤンゴン方)の状況

## 作業報告

日 時 7月21日(月) 07:30~11:30

場 所 下り線 12k260~155m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 28名

- ・ 総つき固め 下り線 12k260~155m L=105m
- ・ PC マクラギ位置修正 1本
- ・ 通り直し 下り線 12k260~200m

朝方から雨で、作業開始時スコールで、1時間ほど待機してから、作業を開始した。

昨年12月下旬に総つき固めを行った箇所であるが、継目落ちも有り、最大で20mmの扛上をした。

明日は、下り線 No15 橋りょうまで総つき固めを行い、上下線の No15 橋りょうのレベル調整を行う。

最高気温は 28℃、豪雨時々曇り



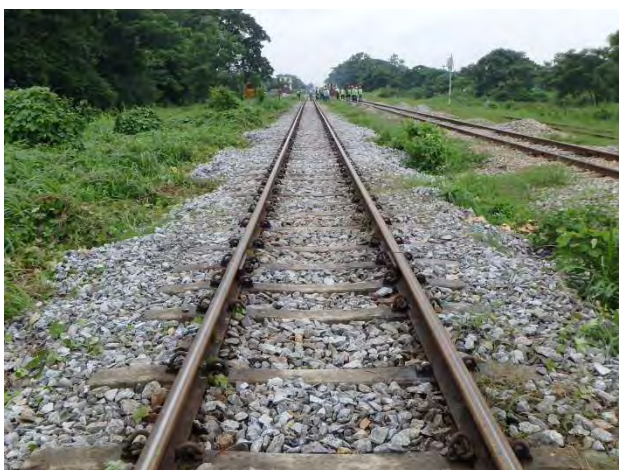
総つき固め



総つき固め



施工前 (12k245m ヤンゴン方)



施工後 (12k245m ヤンゴン方)

## 作業報告

日 時 7月22日(火) 07:30~13:00

場 所 下り線 12k160~60m

作業内容

責任者 3名、作業員 23名

- ・ 総つき固め 下り線 12k160~105m L=55m
- ・ 上下線 No15 橋りょうレベル調整 (むら直し)

今日も朝方から雨で、雨が小降りになったので、30分遅れで作業開始した。

08:30~10:00はA,B班は下り線橋りょうのレベル調整(むら直し)、C,D班はレール扛上、10:20~13:00は、C,D班は上り線橋りょうのレベル調整(むら直し)、A,B班はレール扛上を行った。各班にレベル測量機器を渡し、それを見ながら、橋りょうの橋マクラギの扛上を行った。C,D班は初めての橋りょうでのレベル調整(むら直し)だったので、時間が掛かり、通り直し、アバット部の継目マクラギ交換が残ったので、明日に行く。

雨が多く、草も多く、作業員は安全靴に入ったヒルに悩まされている。

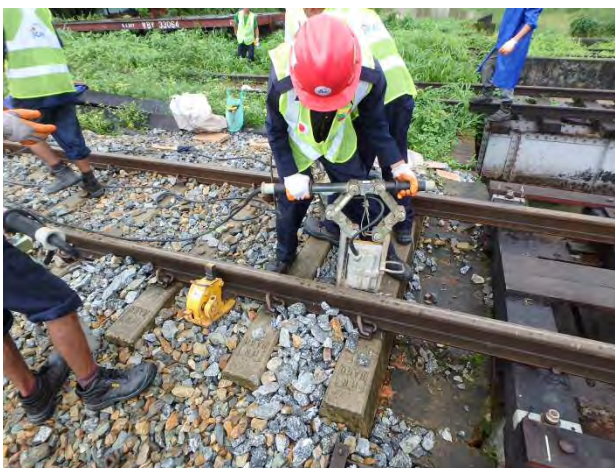
最低 25℃/最高 29℃ 湿度 86% 雨のち曇り



橋マクラギレベル調整



橋りょうのレール扛上



橋りょうアバット部つき固め



下り線 12k100m 付近レール扛上





橋りょうフックボルト解禁



橋りょうレール扛上



橋りょう継ぎ目部扛上



アバット部つき固め



列車抑止して総つき固め



安全靴に入ったヒルを取る。

## 作業報告

日 時 7月23日(水) 07:30~11:30

場 所 上り線 12k060~140m、下り線 12k060~240m

### 作業内容

責任者 3名、作業員 23名

- ・ レール扛上 上り線 12k060~140m、下り線 12k060~130m
- ・ PCマクラギ位置整正 4本
- ・ アバット部継ぎ目縦マクラギ挿入 上り線 12k085m 1組
- ・ 通り直し 下り線 120~220m

A,B班は下り線橋りょう、C,D班は上り線橋りょうに分けて、橋りょう前後部のむら直しを行った。各班の責任者にレベル測量・計画線を作成させ、それを基にレール扛上を行った。その結果は下記の通り。

計画線を作成する間、PCマクラギ位置整正、アバット部の継目位置に縦マクラギを挿入した。

最低 24℃ / 最高 28℃ 湿度 83% 曇り



アバット部からレール扛上



列車抑止してレール扛上

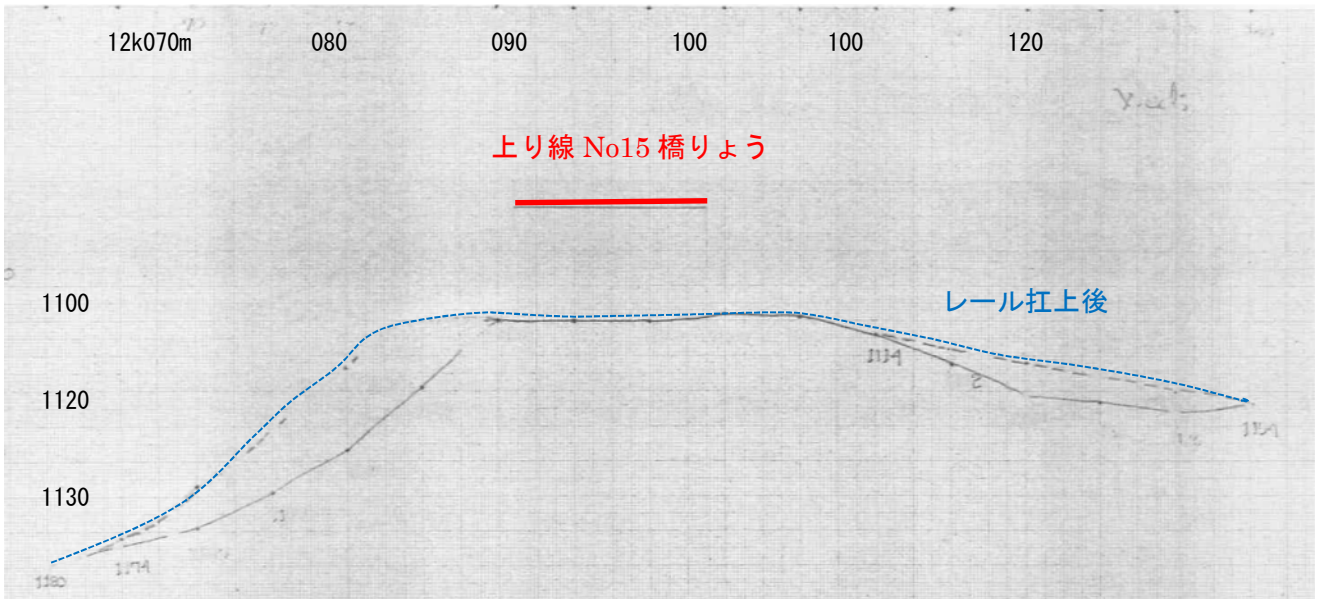


アバット部の継目縦マクラギ

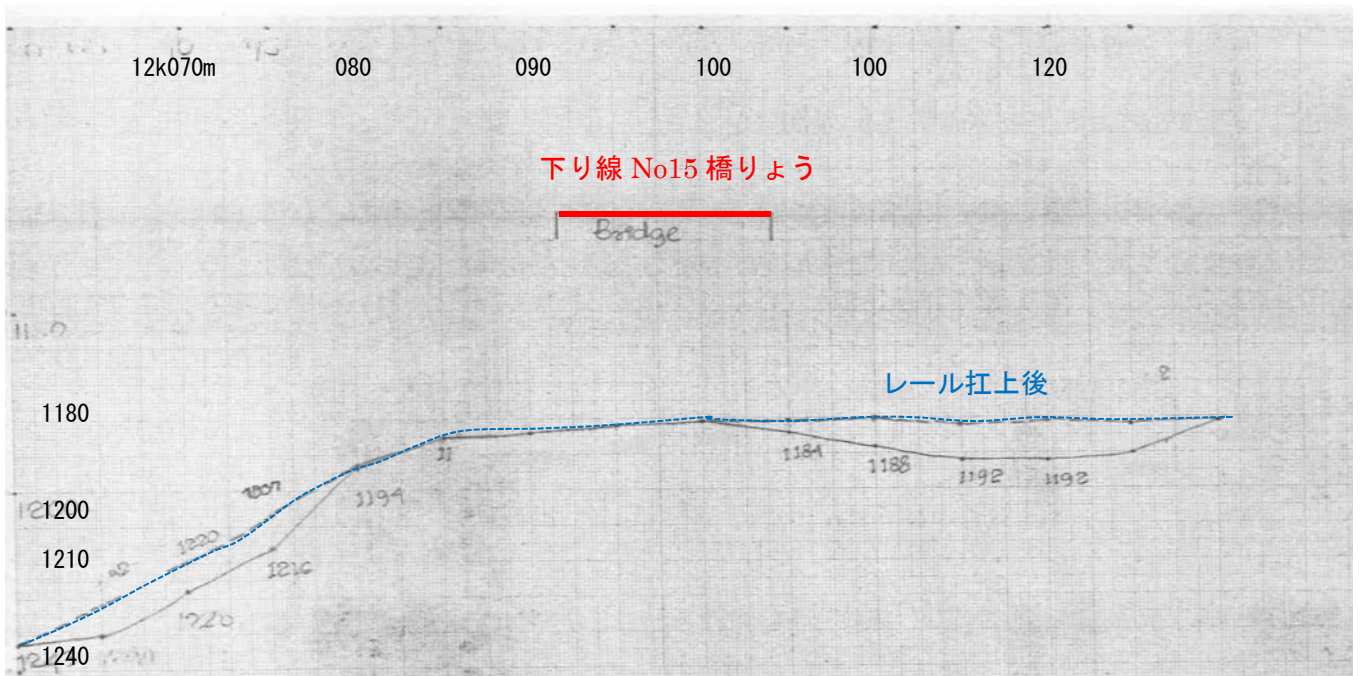


尼さんお通学と通り直し

上り線 12k060~140m の縦断



下り線 12k060~240m の縦断



## 作業報告

日 時 7月24日(木) 07:30~11:30

場 所 下り線 12k645~700m ダゴン大学線踏切端部

### 作業内容

責任者 3名、作業員 24名

- ・ 総つき固め 上り線 12k645~700m L=55m
- ・ 踏切端部道床交換 4m
- ・ レール継ぎ目部穿孔 1か所

12k630mの踏切からバゴ方に向かって、総つき固めを行った。

踏み切り端部は、泥・雑草が多いので、ダゴン大学線も含めて、道床交換を行い、合わせて、バラストで横断排水が出来る様にした。

バラストが少ないため、バラスト補充に手間が掛かった。

作業中、MRのイベント用に使用している蒸気機関車(回送)が通過した。

雨は無く、作業が出来たが、終了後スコールとなった。

明日は12k700mからバゴ方へ総つき固めを進める。

最低 25℃/最高 31℃ 湿度 83% 曇りのち雨



踏切端部掘削整・横断排水工



道床交換



レベル測量中蒸気機関車の通過



上り線 12k650m 付近レール扛上

## 作業報告

日 時 7月25日(金) 07:30~11:20

場 所 上り線 12k700~800m

作業内容

責任者 3名、作業員 25名

- ・ 総つき固め 上り線 12k700~800m L=100m
- ・ PCクラギ位置整正 1本
- ・ 通り直し 上り線 12k740~780m

上り線 12k700m からバゴ一方に向かって、総つき固めを行った。

12k750~780m は最大扛上量が 42 mmあるので、2回に分けてレール扛上を行った。

タン・テー鉄道運輸大臣が当現場を視察され、MR 研修生の研修状況と今後の研修要望について尋ねられた。MR 研修生は、熱心にきつい作業をこなしているが、研修終了後地元に戻って軌道整備を行うために、機材の重要性を訴えた。

来週は 12k780m からバゴ一方へ総つき固めを進める。

最低 24℃/最高 29℃ 湿度 94% 曇り時々雨



バラスト補充



レール扛上



通り直し



鉄道運輸大臣視察

## 作業報告

日 時 7月28日(月) 07:30~11:20

場 所 上り線 12k740~890m

### 作業内容

責任者 1名、作業員 24名

- ・ 総つき固め 上り線 12k780~880m L=100m
- ・ PC マクラギ交換 5本
- ・ 通り直し 上り線 12k740~830m

責任者2名は、ネピドー国鉄本社での面接試験のため、一番若い責任者が1名でワーカ―を指導する。

上り線 12k780m からバゴ―方に向かって、総つき固めを行った。

破損 PC マクラギ交換で手間取ったが、バラストは十分にあったので、11時過ぎには作業を終えた。

明日は 12k880m からバゴ―方へ総つき固めを進める。最大扛上量は 35mm の予定

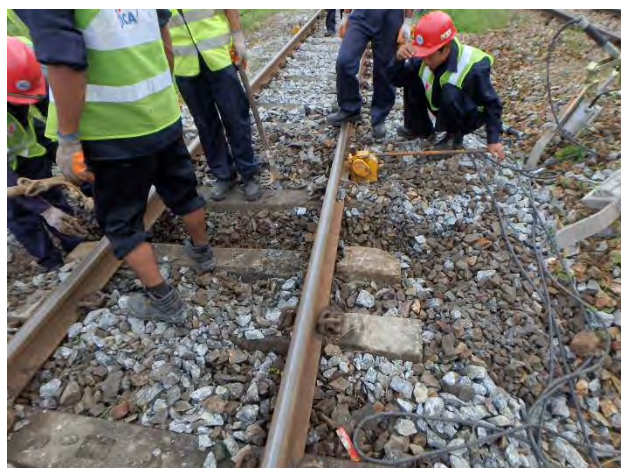
最低 25℃ / 最高 29℃ 湿度 83% 曇り



扛上測定



レール扛上



PC マクラギ交換



通り直し

## 作業報告

日 時 7月29日(火) 07:30~11:30

場 所 上り線 12k865m~985m

### 作業内容

責任者 1名、作業員 23名

- ・ 総つき固め 上り線 12k865~930m・940m~950m L=85m
- ・ PC マクラギ交換 4本

責任者2名は、ネピドー国鉄本社での面接試験のため、一番若い責任者が1名でワーカーを指導する。

4か所の不良PCマクラギ交換を実施した後、上記2か所の総つき固めを行った。12k865m~930mの最大扛上量は30mm。

10時半過ぎより激しいスコールに見舞われたが、11時30分頃作業を終えた。

明日は12k880mから本日取り残した総つき固めを実施する、最大扛上量は30mmの予定  
最低25℃/最高29℃ 湿度100% 雨



施工前 12k880m よりバゴーフ方



施工後 12k870m よりバゴーフ方



施工前 12k930m よりヤンゴン方



施工後 12k930m よりヤンゴン方



巡視による線路点検の様子



激しいスコールに見舞われる現場



マクラギ交換①



マクラギ交換②



スコールの中の総つき固め



軌道検測



## 作業報告

日 時 7月30日(水) 07:30~11:40

場 所 上り線 12k820m~13k040m ダゴン大学線 踏切起点方

作業内容

作業員 24名

- ・むら直し 上り線 12k880m~960m L=80m
- ・通り直し 上り線 12k820m~940m
- ・噴泥箇所道床交換 5.0m (2.5m×2箇所)
- ・レール継目部穿孔 2箇所

若い責任者1名は、昨日の雨の中での作業のためか風邪のため、欠席。

昨日のつき固めが浅かったため、むら直しを行った。

13k040m付近の噴泥箇所道床交換においては、道床撤去後上下線間に溜まった水切りを一旦線路左側に行ったのちに、交換を行った。併せて同箇所レール継目部の穿孔・ボルト締結を行った。

上り線の道床撤去に手間取ったため、11時40分に作業を終了した。

明日は引き続き12k955mからバゴ方へ総つき固めを進めると同時に踏切付近の道床交換を行う。最大扛上量は20mmの予定

最低25℃/最高30℃ 湿度79% 曇り



つき固め



通り直し



上り線道床交換



ダゴン大学線道床交換



継目部穿孔



道床交換 2



道床交換完了 (下り線より)



少年は保線作業に興味があるようです。



13 k 040mよりヤンゴン方 (施工前)



13 k 040mよりヤンゴン方 (施工後)

## 作業報告

日 時 8月1日(金) 07:30~11:40

場 所 上り線 12k975m~13k050m 下り線 13k045m~13k050m 踏切起点方

作業内容

作業員 23名

- ・むら直し 上り線 12k975m~13k050m L=75m  
下り線 13k045m~13k050m L=5m
- ・通り直し 上り線 12k975m~13k050m
- ・PC マクラギ位置整正 1本
- ・継目部短マクラギ挿入 2本

上り線 12k975m からバゴ一方に向かって、むら直し・通り直しを行った。

13k040m付近の先日道床交換をした噴泥箇所においては、PC マクラギの位置整正を行ったのち継目部に短マクラギを挿入した。

雨は降らず、11時30分に作業を終了した。

来週からはティラワ港線 0k295m から曲線整正を行う。

最低 24℃/最高 32℃ 湿度 73% 曇り



上り線むら直し



下り線むら直し



PC マクラギ位置整正



短マクラギ挿入



バラスト小運搬



通り直し



短マクラギ挿入



営業列車も資材運搬に協力してくれます。



13 k 050mよりヤンゴン方 (施工前)



13 k 050mよりヤンゴン方 (施工後)

## 作業報告

日 時 8月4日(月) 07:30~12:30

場 所 ティラワ線 0k390m~0k650m

作業内容

責任者 3名 作業員 24名

- ・ バラスト補充・突き固め ティラワ線 0k390m 分岐部を中心に 0k650m まで
- ・ 軌道変位測定 ティラワ線 0k390m~0k650m

今週より曲線整正を開始した。点呼後、正矢の考え方、曲線整正方法について作業員を対象に説明を行い、曲線部の正矢及び水準、高低変位の測定を行った。その後責任者を対象として移動量算出の講習会を行った。併せて対象区間である 0k650m までバラストが不十分であることから、ティラワ線と本線の分岐器部を中心にバラスト補充を行った。

明日は引き続き、曲線整正にむけて曲線全体の外軌側を中心にバラスト補充を行う。また移動量をもとに基準杭打ちを行い、通り整正を行う。

最低 25℃/最高 29℃ 湿度 89% 雨時々曇



曲線部軌道変位測定



移動量算出の講習会



雨の中、分岐器部へバラスト補充



碎石投入後の軌道状態

## 作業報告

日 時 8月5日(火) 07:30~11:30

場 所 ティラワ線 0k375m~0k650m

作業内容

責任者 3名 作業員 25名

- ・ バラスト運搬・補充、突き固め ティラワ線 0k375m 分岐部を中心に 0k650m まで
- ・ むら直し 分岐器内 ティラワ線 0k375m~0k395m
- ・ 軌道変位(正矢)測定(追加) ティラワ線 0k390m~0k650m

本日はティラワ線のバラストが不足しているため、昨日に引き続き、バラスト補充、及び 0k375m 分岐器部のむら直しを行った。また昨日より曲線整正の準備を開始したが、昨日測定データを再度見直すため、対象箇所の水準・通り変位を再測定した。

また、本日作業員の長靴も損傷している人が多かったため、必要な人に長靴を供与した。

明日は引き続き、曲線整正にむけて曲線全体の外軌側を中心に砕石補充を行う。また内軌側のむら直し及び移動量をもとに基準杭打ちを行う予定である。

最低 25℃/最高 32℃ 湿度 100% 雨時々曇



曲線区間の軌道変位測定



むら直し後のレベル測量



分岐器部へのバラスト散布



むら直し後の軌道状態(分岐器部)

## 作業報告

日 時 8月6日(水) 07:30~10:30

場 所 大雨のため作業中止し、講習会の実施

作業内容

- 責任者 3名 作業員 25名 集合したものの大雨のためその後解散
- ・講習会の実施 トギヤガラ駅近くの店(責任者3名参加)

本日は朝から大雨のため、作業を中止し責任者3名と講習会を実施した。今週で現在のチームの研修が終了するため、これまでの研修を踏まえた疑問点などを解決するQ&Aを中心とした講習会とした。主な話題としてレベル測量の盛り替え方法について、分岐器の構造について、日本における現場責任者の役割等に関する質問を受け回答する流れとなった。

明日は本日予定していた、曲線整正にむけて曲線全体の外軌側を中心に碎石補充を行う。また内軌側のむら直し及び移動量をもとに基準杭打ちを行う予定である。

最低 24℃/最高 25℃ 湿度 100% 大雨



朝の点呼の様子



対象曲線の近くの水牛の群れ



講習会の様子、熱心に考える研修生



水準測量の方法について説明中

## 作業報告

日 時 8月7日(木) 07:30~11:30

場 所 ティワ線 0k375m~0k650m

### 作業内容

責任者 3名 作業員 21名

- ・ 基準杭打ち ティワ線 0k395m~0k560m(曲線部) (L=185m)
- ・ バラスト運搬・補充 ティワ線 0k375m~0k455m(分岐器部・曲線部)
- ・ むら直し ティワ線 0k395m~0k455m(曲線部)

作業員3名風邪のため欠席。本日は曲線整正のため、基準杭打ちを行った。通り整正では最大移動量は±30mmを予定している。曲線部の特に外軌側のバラストが不足しているためバラスト補充、また曲線部及び0k375m分岐器部のむら直しを行った。ティワ線の対象箇所は全体的にバラストが不足しており、遠方より日々運搬してきているが、現地への供給量が十分でないことが懸案事項である。

明日は引き続き、むら直し及び曲線全体の外軌側を中心に碎石補充を行った上で通り整正を行う予定である。

最低 24℃ / 最高 29℃ 湿度 84% 曇り



基準杭打ちの様子



標準ゲージで作った縦距測定器



5m間隔に打設した基準杭



曲線部のむら直し



## 作業報告

日 時 8月8日(金) 07:30~11:30

場 所 ティワ線 0k375m~0k650m

### 作業内容

責任者 3名 作業員 23名

- ・ 通り整正 ティワ線 0k395m~0k440m(曲線部)
- ・ バラスト運搬・補充 ティワ線 0k375m~0k500m(分岐器部・曲線部)
- ・ むら直し ティワ線 0k450m~0k510m(曲線部)

本日は曲線部の通り整正を行った。昨日設置した基準杭をもとに正しい位置へ軌道を振った。最大移動量は±30mm。また通り整正に先行し、むら直しを行っている。内軌側レールのレベルを合わせた後、外軌側レールに40mmのカントを設定した。また、曲線部の特に外軌側のバラストが不足しているため昨日に引き続き補充を行ったが、バラストの供給がないことが重要課題になっている。

来週月曜日も引き続き、むら直し及び曲線全体の外軌側を中心に砕石補充を行った上で通り整正を行う予定である。

最低 24℃/最高 29℃ 湿度 84% 曇り時々雨



通り整正の様子



基準杭と通り整正



バラスト運搬の連携プレイの様子



締結ボルトの締め直し

## 作業報告

日 時 8月11日(金) 07:30~12:10

場 所 ティワラ線 0k375m~0k650m

作業内容

責任者 3名 作業員 23名

- ・ 継目ボルト締結 ティワラ線 0k445m~0k645m(曲線部)
- ・ バラスト運搬・補充 ティワラ線 0k500m~0k645m(曲線部)
- ・ むら直し ティワラ線 0k520m~0k645m(曲線部) L=125m

本日は先週に引き続きティワラ線の曲線部のむら直しと継目ボルトの締結を行った。近傍にバラストがなく、上り線との線間にあるバラストをトロに乗せ、約200mの距離を小運搬で行ったため、材料到着まで時間を要した。

天候にも恵まれ、雨が降ることなく作業を終了した。

明日作業は通り整正を行う予定である。(B・C・D班の最終日)

最低 24℃/最高 31℃ 湿度 80% 曇り時々雨



継目ボルト締結



0k600m 付近むら直し



バラスト小運搬



列車接近のため待避中

## 作業報告

日 時 8月13日(水) 07:30~11:10

場 所 ティラワ線 0k375m~0k650m

### 作業内容

責任者 2名 作業員 19名

- ・ 曲線整正(通り直し)                      ティラワ線 0k530m~0k645m(曲線部)    L=115m
- ・ 道床肩締固め                              ティラワ線 0k530m~0k600m(曲線部)    L=70m
- ・ バラスト運搬・補充                      ティラワ線 0k540m~0k620m(曲線部)

本日は、新しい研修生12名(責任者2名、作業員10名)を迎え入れ、服装や保護具について安全教育を行い、ヘルメット・安全チョッキ・安全靴・長靴・レインコート・教材の配付を行った。そののち、昨日に引続きティラワ線の曲線部の通り直しと道床肩の締固めを行った。通り整正には、一部通り整正器を使用しながら作業を行った。作業終了間際に、雨が少しパラついたが濡れることなく、11:10に終了した。明日の作業はむら直しを行う予定である。

最低 24℃/最高 32℃ 湿度 75% 曇り時々晴れ



新研修生へ保護具の配付



曲線整正器を使用した通り直し



通り直し 施工前



通り直し 施工後

## 作業報告

日 時 8月14日(木) 07:30~12:10

場 所 ティラワ線 0k375m~0k650m

作業内容

責任者 3名 作業員 23名

- ・むら直し ティラワ線 0k520m~0k645m(曲線部) L=125m
- ・継目部短マクラギ挿入 2本
- ・バラスト運搬・補充 ティラワ線 0k620m~0k645m(曲線部)

本日より、D班の研修生8名(責任者1名、作業員7名)が加わり4班体制で作業を行った。昨日に引き続きティラワ線の曲線部のむら直しと踏切脇の継目の下に縦短マクラギを挿入した。新しい研修生は、初めて取扱うタイタンパーの操作をA班のワーカーに教わりながら作業を行った。

作業終了間際に、ドシャ降りとなったが中断せず12:10に終了した。明日の作業は引き続き、むら直しと通り直しを行う予定である。

最低 25℃/最高 31℃ 湿度 70% 曇りのち雨



点呼状況



むら直し



むら直し2



縦短マクラギ挿入

## 作業報告

日 時 8月15日(金) 07:30~11:20

場 所 ティラワ線 0k375m~0k650m

作業内容

責任者 3名 作業員 25名

- ・ 曲線修正(通り直し) ティラワ線 0k395m~0k645m(曲線部) L=250m
- ・ 道床肩締固め ティラワ線 0k395m~0k645m(曲線部) L=250m
- ・ 継目部短マクラギ挿入 下り線 11k530m 付近 2本

本日は、ティラワ線の曲線部の通り直しと道床肩締固及び下り線のレール継目部に短マクラギの挿入を行った。作業終了後に新しい研修生に対してタイタンパーの取扱説明会を行った。

バラストは、計画通り 11k450m 付近の踏切からヤンゴンにむかって散布されていた。

来週は、作業は下り線のヤンゴン方へ分岐器改良、総つき固めを予定である。

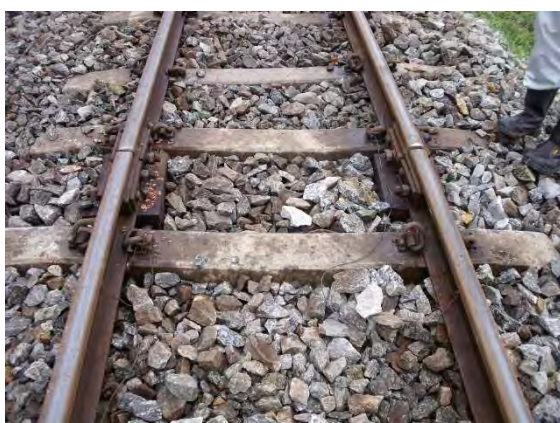
最低 24℃/最高 29℃ 湿度 84% 曇り



曲線修正(通り直し)



道床肩締固め



短マクラギ挿入



タイタンパー取扱い説明会

## 作業報告

日 時 8月18日(月) 07:30~12:10

場 所 下り線・上り線・資材線 11k415m~11k430m

### 作業内容

責任者 3名 作業員 26名

- ・道床交換・排水路整備 下り線 11k425m~11k430m(5m)・上り線 11k428m~11k430m(2m)  
基地線 11k427m~11k430m(3m)
- ・バラスト運搬 下り線 11k415m~11k430m
- ・マクラギ交換 資材線 2本

本日は踏切脇の排水不良箇所を対象に塩ビ管による排水路の設置及び道床交換を行った。当該箇所はティワラ線・上り線・下り線・基地線の4線並列区間であるが、踏切脇でバラストがほとんどなく、土が固結した排水困難な箇所である。本日はティワラ線を除く3線を横断して排水できるように、排水管として片側にスポンジを巻くことで土砂混入を防ぐ措置をした塩ビ管をマクラギ間に埋め込んで排水路とした。

下り線・上り線では道床の掘削を行ったものの、不要な踏切ガードレールの切断、木マクラギ交換が必要な箇所があるため、本日は暫定的にレール下にパッキンを挿入し固定した状態とし、明日マクラギ交換の実施とバラスト補充、突き固め等仕上げを予定している。

また、明日は本日施工箇所に隣接する分岐器部の扛上も予定している。

最低 25℃/最高 32℃ 湿度 84% 曇り時々晴



塩ビ管による排水管設置①



塩ビ管による排水管設置②



道床交換箇所(下り線) (施工前)



道床交換箇所(下り線) (施工後)

## 作業報告

日 時 8月19日(火) 07:30~12:20

場 所 下り線・上り線 11k355m~11k435m

### 作業内容

責任者 3名 作業員 24名

- ・ レールこう上(分岐器部) 下り線 11k355m~11k380m
- ・ 分岐マクラギ交換 下り線 9本
- ・ バラスト運搬・補充 下り線 11k355m~11k380m
- ・ 踏切ガードレール切断 2本

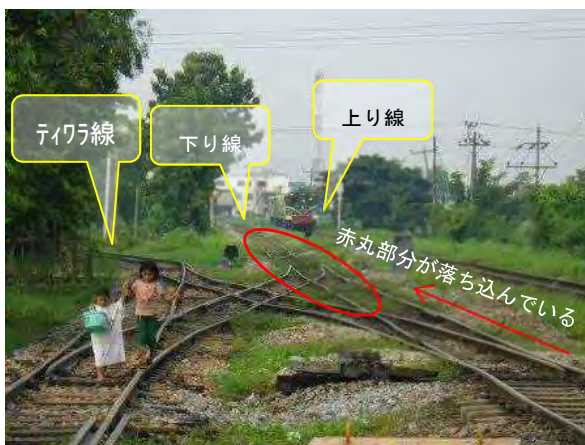
本日はトクチャカレ構内ヤゴン方下り線の分岐器部の軌道整備を行なった。まずは左上の写真、赤丸部分の落ち込みを解消するため、レール扛上を行った。当該箇所は落ち込みが大きいため、本日は最大扛上量は35mmとし、段階的に施工するものとし、併せて周辺の本マクラギの損傷が激しいため9か所のマクラギ交換を行った。

列車本数が多い場所で、当駅で折り返しティワラ線へ向かう列車も多く、当該分岐器には複雑に列車が行き来する。このため、パッキンを一時的に挿入することで、扛上したまま列車を通し、作業を継続できるようにしている。

また踏切に隣接する排水不良箇所には不要な踏切ガードレールが張り出している。このためこの部分をガスで切断した。

明日は引き続き下り線のレール扛上と不要ガードレールの切断を予定している。

最低 24℃ / 最高 32℃ 湿度 75% 曇り時々晴



今週施工対象の分岐器部(施工前)



パッキンを挿入し、列車を通す



マクラギ交換の様子



踏切ガードレール切断後の様子

## 作業報告

日 時 8月20日(水) 07:30~12:20

場 所 下り線・上り線 11k355m~11k435m

### 作業内容

責任者 3名 作業員 25名

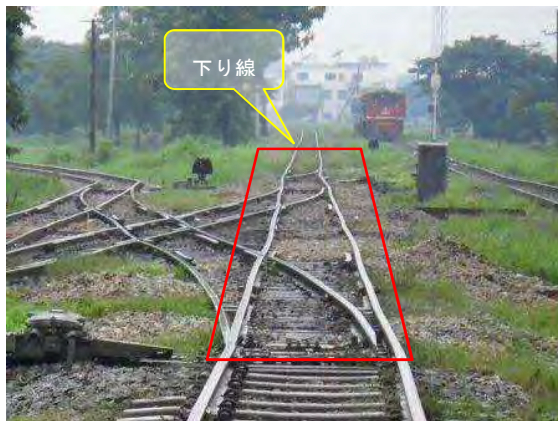
- ・ レール扛上(分岐器部) 下り線 11k355m~11k410m
- ・ 分岐マクラギ交換 下り線 9本
- ・ バラスト運搬・補充 下り線 11k355m~11k410m
- ・ 踏切ガードレール切断 6本 11k435m

昨日に引き続き、トウチンカー構内ヤゴソ方下り線の分岐器部の軌道整備を行なった。本日は左上の写真の囲み部を対象に、昨日扛上箇所を含めた軌道の落ち込みを解消するため、最大扛上量 65 mm でレール扛上を行った。これに併せて分岐マクラギ交換 9 本、バラストの投入、突き固め、犬釘の増し打ち、短マクラギ挿入による継ぎ目部補強を図り、軌道全体の強化を図った。ただし通り直し等は分岐器の扛上が全て終わった時点で行う。

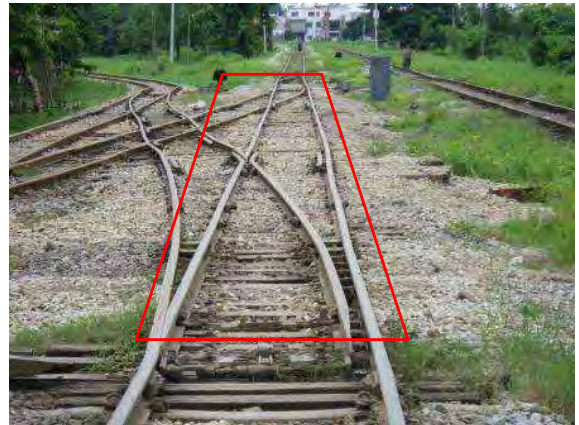
また踏切に隣接する箇所の不要ガードレール切断も行った。

明日は本分岐器のダイヤモンドクッシング部を含めたティラワ線のレール扛上、分岐マクラギ交換、踏切に隣接する排水不良箇所における PG マクラギ交換等を予定している。

最低 24℃ / 最高 29℃ 湿度 84% 曇り時々小雨



分岐器レール扛上(施工前)



分岐器レール扛上(施工後)



踏切脇の不要ガードレールの切断



現場の分岐器部を通過するティラワ線



## 作業報告

日 時 8月21日(木) 07:30~11:20

場 所 下り線・上り線 11k355m~11k435m

### 作業内容

責任者 3名 作業員 25名

- ・ レール扛上(分岐器部) 亙り線(ティワ線⇄下り線) 11k355m~11k410m
- ・ バラスト運搬・補充 亙り線(ティワ線⇄下り線) 11k355m~11k410m
- ・ PCマクラギ交換 2本
- ・ 木マクラギ交換 1本

本日もトクチャンカー構内ヤゴン方の分岐器部の軌道整備を行なった。本日は左上の写真の囲み部の下り線とティワ線の亙り線を対象に、昨日扛上箇所に連続するダイヤモンドクロッシングの扛上を行った。本日は途中より大雨となったためダイヤモンドクロッシング全体の扛上ができなかった。このため前後の取り付けを施工し、明日引き続き施工するものとした。

既設マクラギは暫定的に挿入された状態のものが多く、扛上するにあたり支障するものが多い。これらを移動、撤去などを行いながら作業を進めている。

明日は本分岐器のダイヤモンドクロッシング部及び前後のレール扛上、マクラギ交換、バラスト運搬・補充を予定している。

最低 24℃ / 最高 27℃ 湿度 89% 雨



分岐器レールこう上(施工後)



不要マクラギの移動



PCマクラギ交換



施工後のレベル測量の様子

## 作業報告

日 時 8月22日(金) 07:30~12:10

場 所 下り線・上り線 11k355m~11k435m

### 作業内容

責任者 3名 作業員 26名

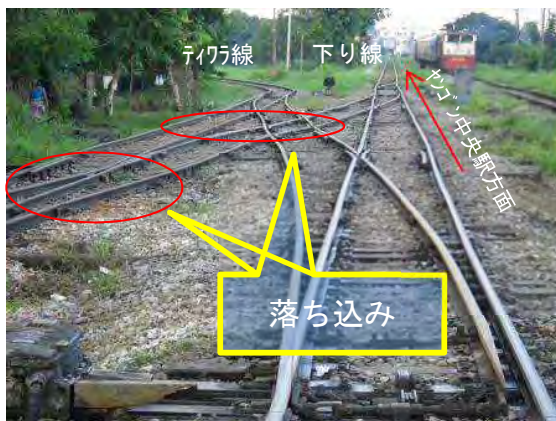
- ・ レール扛上(分岐器部) 亙り線 (ティワ線⇄下り線) 11k355m~11k410m
- ・ バラスト運搬・補充 亙り線 (ティワ線⇄下り線) 11k355m~11k435m
- ・ PC マクラギ交換 上り線 11k425m 2本
- ・ 木マクラギ挿入 上り線 11k425m 1本

昨日に引き続きトウチンカー構内ヤゴンの方の分岐器部の軌道整備を行なった。本日は左上の写真の丸囲み部の下り線とティワ線の亙り線を対象に、ダイヤモンドクッシング部の全体の扛上を行った。昨日まで下り線を扛上した後、ダイヤモンドクッシング部まで扛上できていなかったため亙り線で水準変位が発生していたが、本日の施工で解消された。

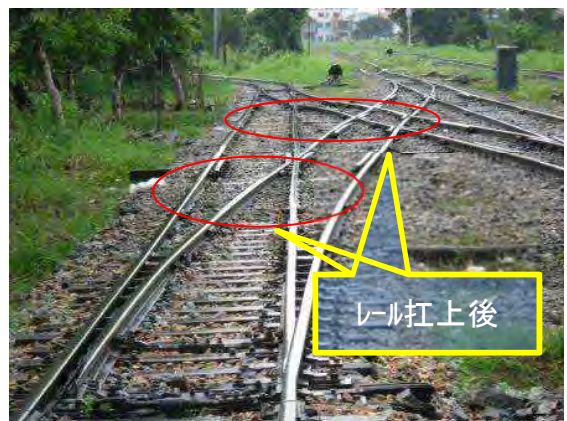
また、踏切脇の排水不良箇所のPCマクラギ交換が本日の施工で終了した。今日も作業終盤で大雨となったが、施工後の排水状態を見ると極めて良好である。

来週は引き続き、ティワ線と亙り線の一部の扛上、分岐器全体の通り整正を予定している。また、下り線をヤゴン中央駅方面に軌道整備を進める予定である。

最低 24℃ / 最高 28℃ 湿度 84% 曇り後雨



分岐器レール扛上(施工前)



分岐器レール扛上(施工後)



PC マクラギ交換



MR の軌道自転車 (エンジン付き)

## 作業報告

日 時 8月25日(月) 07:30~11:20

場 所 ティラワ線 0k355m~0k425m

作業内容

責任者 3名 作業員 24名

- ・ レール扛上(分岐器部) ティワラ線 0k355m~0k425m L=70m
- ・ バラスト運搬・補充 ティワラ線 0k355m~0k425m
- ・ 継目部短マクラギ挿入 ティワラ線 0k360m~0k380m 2本

本日は、先週に引続きトウチャンカレー駅構内起点方のティラワ線のレール扛上(分岐器部)とそれに伴う継目部短マクラギ挿入を行った。扛上量が多いうえに、近傍にバラストがないため、約100mの距離を運搬し補充を行った。途中、2回ほど雨にうたれたが作業を継続し11:20に終了した。

作業中に大臣専用列車の通過があった。

明日の作業は、ティラワ線の扛上と分岐器全体の通り整正を行う予定である。

最低 24℃/最高 32℃ 湿度 84% 曇りのち雨



バラスト運搬



レール扛上



バラストつき固め



鉄道大臣専用列車通過



## 作業報告

日 時 8月27日(水) 07:30~11:30

場 所 下り線 11k315m~11k355m

作業内容

責任者 3名 作業員 23名

- ・ レール扛上(分岐器部) 下り線 11k315m~11k355m L=40m
- ・ バラストかき上げ・整理 下り線 11k315m~11k355m
- ・ 継目部短マクラギ挿入 下り線 11k343m、355m 付近 3本

本日は、トウチャンカレー駅構内起点方の下り線の51B号分岐器のレール扛上、道床かき上げと継目ボルトの交換、継目部の短マクラギ挿入を行った。扛上量が60mmのため2段階に分けて扛上を行ったので、時間を要したが11:30に終了した。

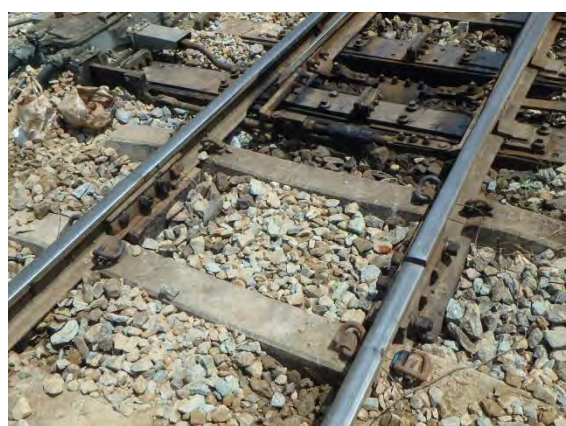
昨日、今日と作業中雨もなく、気温が上がり、熱射病に掛かる者もあり、体調が良くない者は休ませた。(高齢者には辛い)

明日の作業は、下り線 11k250~325mのレール扛上を行う予定である。

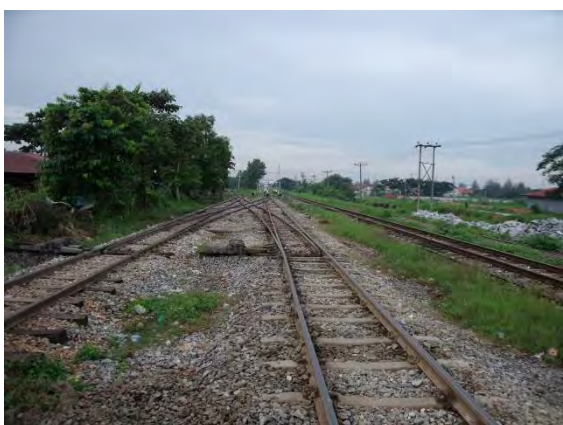
最低 25℃/最高 32℃ 湿度 67% 曇り時々晴れ



レール扛上・つき固め



継目部短マクラギ挿入



施工前



施工後



バラストかき上げ



列車を抑止してレール扛上



レール扛上・つき固め



11k360m よりヤンゴン方（施工後）



バラスト補充しながらつき固め



バラスト補充しながらつき固め



変形した継目ボルト



通過したホキ車（ホースが貫通している）

## 作業報告

日 時 8月28日(木) 07:30~12:10

場 所 下り線 11k285m~11k330m

作業内容

責任者 3名 作業員 23名

- ・ 総つき固め 下り線 11k285m~11k330m L=45m
- ・ PCマクラギ交換 下り線 11k280m 付近 2本
- 下り線 11k320m 付近 2本
- ・ PCマクラギ撤去 5本
- ・ 継目部短マクラギ挿入 6本

本日は、トウチャンカレ駅構内起点方の下り線の総つき固めとPCマクラギ交換を行った。途中、雨にうたれたが作業は継続し12:10に終了した。

施工箇所を先行して現場調査したところ、11k265m~285mマクラギ下で滞水が確認された。最近体調を崩している人が増えてきているので、健康管理に努めるよう注意喚起を行った。明日の作業は、下り線11k260~280mの道床交換と分岐器全体の通り整正を行う予定である。

最低 24℃/最高 31℃ 湿度 84% 曇り時々晴れ



総つき固め



PCマクラギ交換



継目部短マクラギ挿入



マクラギ下滞水確認

## 作業報告

日 時 8月29日(金) 07:30~11:30

場 所 下り線 11k315m~11k435m  
ティラワ線 0k330m~0k395m

### 作業内容

責任者 3名 作業員 23名

- ・ 通り直し (亘線含む分岐器) 下り線 11k315m~11k435m  
ティラワ線 0k330m~0k395m
- ・ PCマクラギ交換 下り線 11k265m 付近 2本
- ・ ガードレール切断面加工 2口

本日は、トウチャンカレー駅構内起点方の下り線・ティラワ線の分岐器全体の通り直し、PCマクラギ交換及び踏切ガードレール切断加工、11k285m からヤンゴン方に向かって現況の水準測量を行った。

また安全確保の場内用無線機、MR分岐器工場で作製した簡易トロリーを貸与した。

来週からレール扛上する 11k200m 付近はバラスト不足の箇所であるが、その箇所をマルチでつき固めたため、土が露出しており、この付近はバラスト交換を行う。

来週の作業は、下り線 11k290m からヤンゴン方の道床交換とレール扛上を行う予定である。

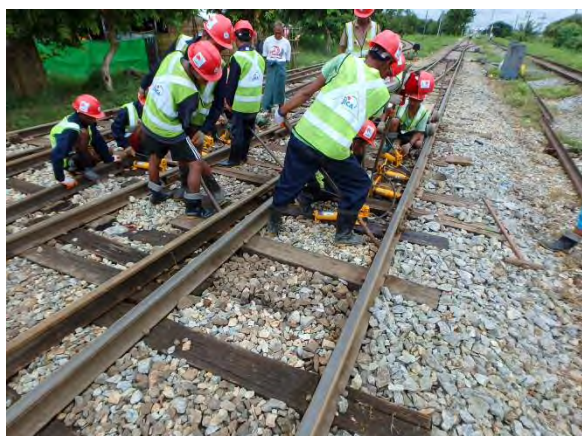
最低 25℃/最高 31℃ 湿度 94% 曇りのち雨



通り直し (分岐器)



通り直し



通り直し



通り直し





ガードレール切断面加工



ガードレール切断面加工



PC マクラギ交換



PC マクラギ交換



マルチで土が露出



MR 製簡易トrolley



施工前



施工後